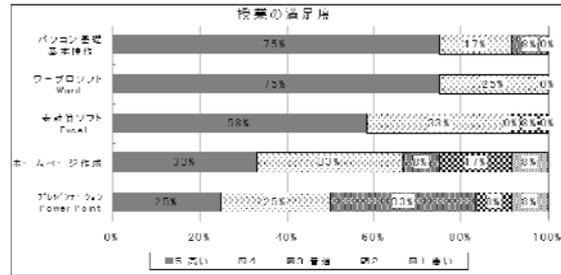


平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	社会人のキャリアアップ教育プログラム		
事業名	在宅ワーク・アントレプレナーのための社会人向けIT訓練カリキュラム開発		
法人名	学校法人浦山学園		
学校名	富山情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 浦山 哲郎	担当者 連絡先	清水 大樹 0766-55-1420
<p>1. 事業の概要</p> <p>退職ないし定年退職した社会人もしくは、再就職活動を試みる方の中には、在職中の専門スキルを活かし、在宅ワークないし起業を希望するケースが多い。関心は高いが、情報収集や必要なスキルをどこでどのように身に付ければよいかかわからず、希望を叶えられずに居る方をサポートするために、在宅ワークないしアントレプレナーとして働き始めるための第1ステップとして必要なITスキル習得講座カリキュラムを開発する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>■目的 当事業は、在宅ワークないしアントレプレナーとして働き始めるための第1ステップとして、必要なITスキルを習得するためのカリキュラムを開発することにある。</p> <p>■重点項目</p> <p>①受講者選考について より効果的な講座受講体制とするため、受講者選考段階において、選考基準を設け、受講希望者を選定した。</p> <p>②授業内容について 起業する上では、欠かせないスキルであるホームページ作成とプレゼンテーションに、IT科目時間数の60%近くの学習時間を取り入れた。</p> <p>■目的の達成状況 起業・就業に必要なITスキル、オフィス系、Webツールの活用法、起業体験等の情報提供、ホームページ作成・プレゼンより広報ノウハウ学習の内容については、カリキュラムに反映されており、受講生の成績及びアンケートにより、各スキルの学習理解と満足度を測定した。結果としては、どちらも非常に高いレベルであったと言え、学習理解度及び講座についての満足度は高かったと判断できる。</p>			

【成績表】

	基礎					応用					平均点
	パソコン基礎 基本操作	ワードソフト	表計算ソフト	電子メールソフト 作成	インターネット 検索	パソコン基礎 応用操作	ワードソフト 応用操作	表計算ソフト 応用操作	電子メールソフト 応用操作	インターネット 応用操作	
AT	88	77	84	81	88	78	78	77	84	88	82
AM	84	75	92	91	88	88	78	91	88	88	84
AT	84	84	87	84	88	88	84	88	88	87	87
LA	77	78	80	81	88	78	78	84	88	84	84
EC	88	78	87	87	88	82	78	78	88	82	84
DB	84	78	80	87	88	84	78	84	88	88	84
EC	82	78	87	88	88	78	77	88	88	88	84
EC	84	78	80	87	88	88	77	87	87	88	84
ST	84	74	88	88	88	88	78	84	78	78	78
HM	84	84	90	90	88	88	88	92	84	84	88
MA	84	84	88	88	88	78	91	84	84	88	88
YA	84	78	87	84	88	78	77	88	84	88	84
平均	81	80	87	88	88	78	78	81	81	81	85



【HP作成科目とプレゼンテーション科目の満足度が低い理由】
この2科目は、関係ソフトを全く操作したことが無い方が多く、不慣れなことが、そのまま訓練生のストレスになった。特に年配の方には、操作や思考の遅さにおいて、非常にストレスがあったと言えた。より多く時間が必要な科目と言えた。

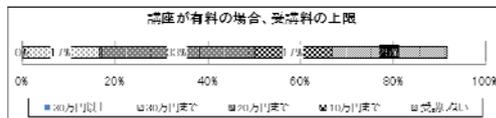
※成績及び授業満足度について

全科目の平均点が86点であり、非常に高い成績を維持できている。訓練生数が多い中、成績レベル(理解度)を維持するという事は達成できた。ただし、科目によっては、満足度にバラつきがあり、これは訓練生が過去に操作経験があるソフトであったかどうかが大きく係っている。特にホームページとプレゼンテーションについては、満足度が大きくバラつきを見せており、あまり操作経験の無い、かつ難易度の高いものは、そのまま訓練生のストレスになったと考えられる。

②事業により得られた成果

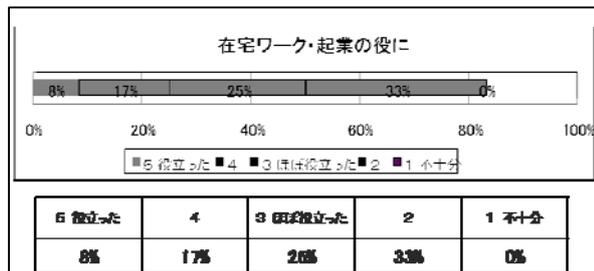
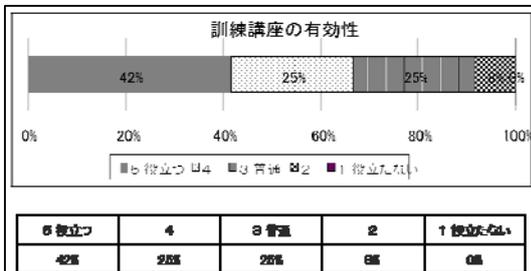
■在宅ワーク・起業への有効性

アンケート評価については、大きく分かれたと言える。特に、講座の有効性及び在宅ワーク・起業に役立つかの問いかけに対しては、数名が疑問を抱いていたことが読み取れた。原因としては、より直接的な「在宅ワーク・起業」のノウハウ、もしくは成功マニュアルを学習できるとの思いを強く抱いていた方が存在したことが挙げられる。こちらも今後の講座作成に大いに参考になった。



1	30万円以上	0%
2	30万円未満	1%
3	20万円未満	33%
4	10万円未満	1%
5	受講しない	26%

【高額授業でも続かない理由】
基本は、こうした学習にはお金を使いたくない、というのが本音と見える。ただし、HP作成や在宅ワーク・起業に特化した内容を専攻して学習することについて、価値を見出している方が多かった。一般のPCスクールでは講座相場が20万前後であり、その周辺価格に落ち着いたと思われる。



■カリキュラム・シラバス・学習計画書の事前提示による高い成績の維持

平均点86点、修了生の中で70%以下の成績の訓練生は存在せず、非常に高いレベルでの講座運営が行われたことを証明していると言える。今後は、スキル養成ではなく、在宅ワーク・起業のノウハウや、成功者の体験(成功手順)を、直接的に学習する方向にて、各々が希望する起業分野に取り組んでいくことが必要になると言える。計画的な講座運営による高い学習レベルの維持と、起業によるビジネスの成功は、別の講座により実施される方が望ましいと考えられる。

③今後の活用

■起業したい内容について

- Web系の業務
- 不動産賃貸業
- 事務系
- 輸送業向けコンサルタント
- 在宅ワーク、資格を生かすものなら何でも
- ネットショップ開店
- 雑貨販売(既に開設中だが、更なる増収に向けて)
- その他:関心があるが、未定7名

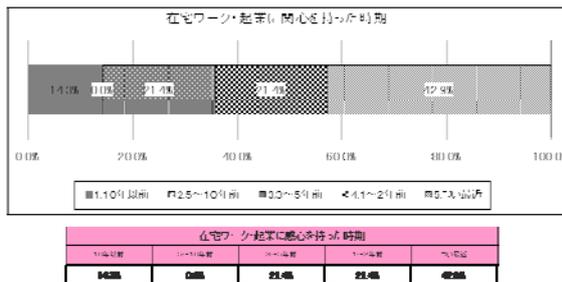
■既に起業しているケース

上記起業したい内容の内、雑貨販売や事務系(図面作成等)の実務に役立てたいの方は、受講希望時より居られた。

■受講の目的より振り返り、今後の分析

元来の講座受講目的は、経済的な理由より、こうした在宅ワーク・起業に関心を持つ方が多かったことが伺える。ほぼ半数が、つい最近に関心を持ち始めたことから、社会情勢も大きな要因と考えられるため、訓練生は、将来に向けて、起業という収入源の選択肢を増やそうという考えもあったと思われる。

今講座のホームページ作成等を活用し、新規の広報に取り組むケースも多々あると考えられる。



	在宅ワーク・起業の目的 (複数回答)	回答数
1	収入増	10
2	夢の実現	3
3	社会貢献	3
4	趣味・余暇	2
5	その他	1

④次年度以降における課題・展開

■次年度以降に類似コースを開講するとしたら

特に在宅ワーク・起業に関して特化した学習カリキュラムは価値が高いと言える。

募集に関してはニーズがあり、新聞等マスメディアを活用した広報にて、十分に定員が集められると考えられる。

ただし、実際に訓練修了後すぐに起業できる内容の講座は難しいと考えられる。実際に起業するタイミングは、それぞれであり、多くの受講生は訓練修了後も、更に学習し、スキルを伸ばしながら、情報収集や広報についてのプランニング等を慎重に実施しなくてはならないからである。

最終的な在宅ワーク・起業の時期を明確にスケジュール化したカリキュラムでの受講生募集は難しく、次年度実施するならば、直接的に「起業に役立つ知識」や「成功ノウハウ」を学習することが、カリキュラム作成には望ましいと考えられる。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

■修了証について

訓練最終日に、修了証を発行した。

発行の要件については、特に出席率や成績等で選別した訳ではなく、最終日まで継続して訓練を受講した者に発行した。

③講座の実施

■成績について

修了時受講生:12名

平均点:86点

全体が非常に高い成績で修了した。

■各科目について

各科目については、全般的に高い成績で推移したが、特にITスキルの応用であるホームページ作成とプレゼンテーションスキルについては、受講生の満足度が低かった。これは、これまで全く未体験のアプリケーションを学習する内容であったため、受講生のストレスが高くなり、かつ理解には時間や能力を求められるためと考えられる。



④支援対象者(受講者)の状況

現在、訓練修了後一ヶ月調査にて新たに起業した者は居ないが、それぞれが各起業等支援の機構等に赴き、在宅ワーク・起業への情報収集活動に取り組んでいる。訓練開始前より既に起業していた受講生については、ホームページ作成のスキルや広報スキルを用いて、これまでの起業内容(販売関係等)の見直しを実施している。その他2名が就職決定。

